

# 自分たちのためだ。漁民が山に木を植えた！

## ●天香山に大漁旗が！

今年四月十日、上益城郡矢部町の天香山の斜面一七ヘクタールに約四千九百本の苗木が植林されました。植林したのは出漁時の長靴スタイルに鎌を持った漁民の皆さん、約百五十名です。



わっていることを感じてもらいたかった」と、漁協に呼び掛けられた濱崎勝会長。天香山に、漁民の森が誕生しました。

現在、二十八団体、約一万五千人が参加しています。それぞれの団体の主旨は、環境保護や廃油石けん使用の拡大、地域活性化など様々です。「でも、皆熊本の水が心配なんです」と浜辺事務局長。

## 【天清水の会】

旧天明町は天香山から約五十キロメートル下、緑川河口、有明海に面するところ。かつてはアサリ、クルマエビの収穫量日本一を誇っていましたが、漁獲量の減少とともに漁業後継者不足に悩んでいます。「昔のように豊かな海で漁をしたい。活気ある地域に戻りたい」。地域の若者たちが集まり、地元を見直し始めました。「魚が少なくなつたのはなぜだろう?」「地盤沈下が進んでいるのはなぜだろう?」。地域の活性化の前に、水問題が大きく存在していました。グループは「天清水の会」と命名。水をテーマにまちづくりをしていこうと立ち上がったのです。「山に木を植えたからと言ってすぐに結果が出るわけではない。でも、山の様子が、下流域の自分たちの生活に深く関

心三十五名の会員がいます。「下流域の我々だけでなく、中流域や上流域のたくさんの人をも巻き込んで緑川を考えていこう」と、さらに「緑川の清流をとりもどす流域連絡会(浜辺誠司事務局長)を結成しました。これには

天明水の会では、海に住む子どもたちと山に住む子どもたちにお互いを理解してもらおうと「海・山交流会」を開いたり、子どもたちに川に親しんでもらおうとカヌー教室を開いたりしています。今年はまだ小・中学生を対象とした「青少年の森(仮称)」を作る予定です。海に面した旧天明町の畑に今、苗木がすくすくと育っています。



ら島原までカヌーによる有明海横断を実行する予定とか。また、有明海を取り巻く四県が関わることになる「環有明構想」も進みつつあります。山から川へ、そして海へ。水を介して人の輪がどんどん広がっていきます。

# 上流に住む私たちがきれいにしなくては！

## ●コヒナがいなくなった！



「昔は、川いっばいにコヒナがおつて捕つては食べよつたのに、いつの間にか見らんこつなつたですもんね」と小国町の宮崎昭子婦人会長。コヒナはカワナナの別名。水質汚濁の指標と言われるホタルの幼虫がエサにする貝のことです。南小国町に発し小国町を流れる杖立川。下流に比べれば川はすずと澄んでいるように見えますが住民たちはいち早く川の異変に気づいていたのです。「水問題には十七・八年前から取り組んでいました」と宮崎会長。環境問題を取り上げたフィルムの上映会を毎晩小学校で開いて回り、訴え続けました。「油を流して捨てるのはやめましょう。台成洗剤をやめて廃油石けんにしましょう」と。

**台所は海の入口です**  
台所の排水の汚れはできるだけきれいにしましょう

ストッキングを利用した水切り袋

油はできるだけ使初はしよう  
捨てる量は使初はしよう

- 1.新しい油は必ず野菜湯で洗う
- 2.ホイルやフライパン、ケトル、鍋、茶鍋、湯沸かし器、やかん、お湯沸かし器、お湯沸かし器、お湯沸かし器
- 3.から揚げ、揚げ物、下味をつけた揚げ物、揚げ物
- 4.いためた物はよく洗う

川の水はきれいにして、生物も変わってくる

きれいな水 汚れた水

ヤマメ、アユ、カマツカ、サワガニ、コイ、ウナギ

づくり運動が小国町・南小国町婦人会を中心に急速に動き出しました。昔(か)性ソーダに家庭から持ち寄つた廃油を加え入れながら掻き回すこと三十分。とろとろとした石けん液が出来上がります。これを型に流し込み、数日間干すと固形石けんの出来上がりです。

## ●子どもたちへ、男性たちへ

婦人会では小学生の廃油石けんづくりの授業に石けん製造機を貸し出しています。「子どもたちが作った石けんを家に持ち帰って母親に、という具合に広がっているようです」と宮崎会長。

四月十日、小国町宮原地区では川の清掃が行われました。主催は同町の「宮原土地利用計画チーム」(鎗水喜久生会長)。主に三十〜五十代の男性たちで構成された会です。この日は子どもからお年寄りまで約八百人の住民が参加しました。女性たちの活動が子どもたちへ男性たちへと広がってきているのです。

●主婦のアイデア、石けん製造機  
平成三年、食廃油リサイクル推進地域に指定されたのを機に、廃油石けん

石けん製造機は古い灯油缶の上にかくはん機を取り付けた簡単なもの。よく見るとミシンの動力輪や洗濯機のモーターが使われています。石けん液を流し込む型は寒天流しがヒント。固形を粉末にするために、大根おろしを利用するなど、主婦ならではのアイデア

一昨年の水質検査で、杖立川は最も澄んでいる「AAランク」に十年ぶりに戻つていことが分かりました。婦人会はもちろんのこと、廃油石けんづくりや清掃に参加した町民全員に大きなごほうびとなりました。

## 【小国町・南小国町婦人会】